

平成16年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

| 団体名 | | 武蔵野市子ども協会 | | | | | | |
|------|---|---|------------------------|------------------------|-----|-------------------------|------|------------------------|
| ① | 指標名 | 市内利用者の増加を図る | | | 目標値 | (吉) 31.0人 (は) 67.6人 | 実績値 | (吉) 32.7人 (は) 67.0人 |
| | 過去の実績 | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 達成率 | (吉) 105.5% (は) 99.1% | 達成状況 | 未実施・未達成・ 達成 |
| | (単位:人) | (吉) 27.9人 (は) 89.0人 | (吉) 30.0人 (は) 69.0人 | (吉) 30.1人 (は) 65.6人 | | | | |
| | 取組内容 | ※16年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①ひろば事業を充実させ、市内利用者のリピーターの増加を図った。 ②毎月新たに利用対象となった子ども（出生・転入者）へのPRとして、リーフレットを郵送した。 | | | | | | |
| 一次評価 | ※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○市内利用者のリピーターが増加した一因は、遊びの環境について子どもの育ちを考慮し工夫を重ねたことと考えられる。 ○妊婦を対象としたプレママン見学会については、依然参加者は少なく、再度検討が必要だ。 ○市内の利用者数の増加を図るため、従来の通信を17年度からはがきに替え、読みやすいものにする。 | | | | | | | |
| 二次評価 | ●利用対象者への情報提供としては、通信「0123」を年1回対象者全員に、毎月新たに対象になった子ども（出生、転入者等）にリーフレットを郵送するなどした。 ●地域のボランティアの協力による活動などを得て、ひろば事業が充実し、リピーターの増加につながった。これらの結果、利用者が増え、目標値を上回った。 ●少子化が進む中、右肩がりの利用増は望むべくもないが、今後も未利用者へのPRの充実に努めることが必要である。 | | | | | | | |
| ② | 指標名 | 管理経費の削減 | | | 目標値 | 14,500千円 | 実績値 | 15,399千円 |
| | 過去の実績 | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 達成率 | 94.2% | 達成状況 | 未実施・ 未達成 ・達成 |
| | (単位:千円) | 19,344 | 14,694 | 14,534 | | | | |
| | 取組内容 | ※16年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①委託契約方法の見直しをする等の経営努力をした。 | | | | | | |
| 一次評価 | ※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○広報課で作成することとなった政策広報ビデオ（0123施設を取り上げた）を利用したの視察対応用及び講演会等のための備品の購入、その他細々した用品の購入等予定外の支出があり、目標とした金額の管理経費の削減は達成できなかった。 ○今後は委託料を中心に精査し、節減を図りたい。 | | | | | | | |
| 二次評価 | ●当初予定していなかった備品の購入などのため、管理経費削減の目標値を達成できなかった。 ●今後は経費の7割強を占める委託料の精査や契約方法の見直しを進めるべきである。 ●また、市民・市外者とも無料の施設利用料や各事業の参加費の徴収についても検討が必要である。 | | | | | | | |
| ③ | 指標名 | スタッフの人材育成 | | | 目標値 | スタッフの意識の向上 | 実績値 | スタッフ意識が向上した |
| | 過去の実績 | 平成13年度 | 平成14年度 | 平成15年度 | 達成率 | — | 達成状況 | 未実施・未達成・ 達成 |
| | (単位:) | | | | | | | |
| | 取組内容 | ※16年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①子育てSOS支援センターや保育課保育推進担当の方々と、情報交換の機会を設け、それぞれの実態と今後の課題などを確認しあった。 ②「ひろば事業」における利用者からの相談を整理し親の相談の実態を把握するとともにスタッフの意識の向上を図った。 ③利用者に対して行うアンケート調査に「スタッフについて」の項目を設け、その結果を受けて、スタッフ間でひろばにおけるスタッフの役割について話し合った。「もっとひろばで利用者と関わって欲しい」という回答が多かったことを受け、意識してひろばに出て積極的に利用者に関わるようにした。 | | | | | | |
| 一次評価 | ※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○目標値は数値化されていないが、研修に参加したり両施設のスタッフが合同で勉強会を開くなど、職場が活性化されていると考えられることから、達成できたと評価した。 ○今後も、市及び関連施設との交流を行うことや、ひろば事業における利用者からの相談を整理記録することやアンケート調査を行ないながら市民ニーズを踏まえた事業のあり方を考えるなど、スタッフの意識の向上を図っていく。 | | | | | | | |
| 二次評価 | ●類似施設の市職員との意見交換や研修等に参加することによりスタッフ意識の向上につながっている。 ●社会経済状況の変化の激しい昨今では、スタッフは時代を敏感に感じ取り、新たなアイデアやサービスの発想により利用者のニーズにあった事業を展開していくことが必要である。今後も積極的な他団体との交流や研修などを活用し、特定の分野にとらわれない知識、視野をもったスタッフの育成を積極的に進めていくべきである。 | | | | | | | |